



紫竹山IC



金沢港



官庁施設(公共建築)

つくること、まもること、伝えること

令和7年度 北陸地方整備局

事業研究発表会

【同時開催】 広報コンクール (事例発表9/10)

2025 9/ 9(火)・10(水)

会場 新潟美咲合同庁舎1号館

受付時間

9月 9日(火)12時30分から13時30分

16時50分から17時30分

9月10日(水) 8時20分から 9時00分

15時20分から16時00分

受付時間外の一時通行証の貸与及び返却は守衛室に
お願いします

国土交通省北陸地方整備局は、河川、道路、港湾、空港、営繕、公園といった国のインフラ施設の整備や維持管理、地震・洪水などへの危機管理、災害支援(TEC-FORCE)の仕事の他、建設業の監督、地方自治体への地域づくり・まちづくりなどの助言を行っています。

北陸地方整備局では、こうした現場で培った、技術や調査・研究等の成果を発表する場として「事業研究発表会」を毎年開催しています。



利賀ダム



石川海岸(松任工区)



国営越後丘陵公園

事業研究発表会

検索

課題論文や過去の論文などはホームページに掲載しています。その他プログラムなどはQRコード及びキーワードで、ホームページへアクセスし、最新情報をご覧ください。

北陸地方整備局ホームページ
事業研究発表会にリンク



能登半島地震対応



白岩砂防堰堤



大河津分水路改修

プログラム目次

特別講演	 2
プログラム(部門)概要	 3
プログラム概要	 4
発表プログラム(グループ別)	 5
Aグループ(4F合同会議室)	(5~6)
I-1 イノベーション(DX・新技術)	
II アカウンタビリティ	
Bグループ(4F共用会議室3)	(7~8)
V 暮らし・活力	
VI 環境	
VIII 行政・法令実務・業務効率化	
Cグループ(4F共用会議室2)	(9~10)
I-2 イノベーション(全般)	
III 災害対応・防災	
Dグループ(4F共用会議室1)	(11~12)
III 災害対応・防災	
Eグループ(2F港湾海岸電算室)	(13~14)
IV 維持管理・全般	
VII 雪	
ご来場の皆さまへ	 15
会場のご案内	 16

『地域航空 トキエアの役割』

～トキエアの戦略～



トキエア株式会社 代表取締役

長谷川 政樹

トキエア株式会社（TOKI AIR Co., Ltd.）は、新潟空港を拠点として新潟一札幌（丘珠）など、国内4路線の地方都市間を結ぶ地域に根ざした航空会社で、航空事業を通じ、地元新潟県の地域活性化や地域貢献に取り組まれています。

大都市への人口集中や地方の過疎化・人口減少が進む中、地方都市間の路線拡大を通じた地方創生に繋がる様々な取り組みや佐渡空港就航に対する想いなどについてお話しいたします。

日時：令和7年9月10日(水) 13:00～14:30

会場：北陸地方整備局4階共用会議室

・映像情報共有化システム

その他管理＞北陸地方整備局＞北陸本局1（HD）・北陸本局2（SD）

【講師略歴】

長谷川 政樹（はせがわ まさき）

1967年/新潟県加茂市生まれ

日本航空(株)入社後、新潟県庁、ジェットスター・ジャパン(株)、三菱重工(株)を経て現職。日本航空では、日本のフルサービス航空(FSC)事業を学び、機材導入計画に基づいたパイロット配置計画及び採用、訓練計画等の策定などに従事。新潟県庁では、交通政策局で港湾振興に従事、コンテナ船、旅客船を担当。東日本大震災時の新潟港利用拡大に寄与。ジェットスター・ジャパンでは、創業期にジェネラル・マネジャーとして外資系ローコスト航空(LCC)事業を学び、ビジネス戦略、マネジメント制度設計などに従事。三菱重工では、航空機メーカー事業のディレクターとして航空会社が機体を運航する際に必要な訓練等を統括。日本の当局(JCAB)のみならず、ヨーロッパ(EASA)、アメリカ(FAA)の当局と調整業務を担当。2020年7月にトキエア(株)を設立、2023年2月に本社を新潟空港ターミナルビルに移転、同年3月に航空運送許可を取得し、2024年1月31日に新潟一札幌(丘珠)運航開始。同年4月に2路線目として新潟一仙台、9月に新潟一名古屋(中部)路線を就航。2025年3月に4路線目となる新潟一神戸路線が就航した。

国内及び外資系航空会社、航空機メーカーでの経験等を通じ、外資系と日本企業との長所を融合した最適ソリューションを提案。また官民での業務経験を活かし、規制緩和等に関わる調整経験は豊富。



プログラム(部門)概要

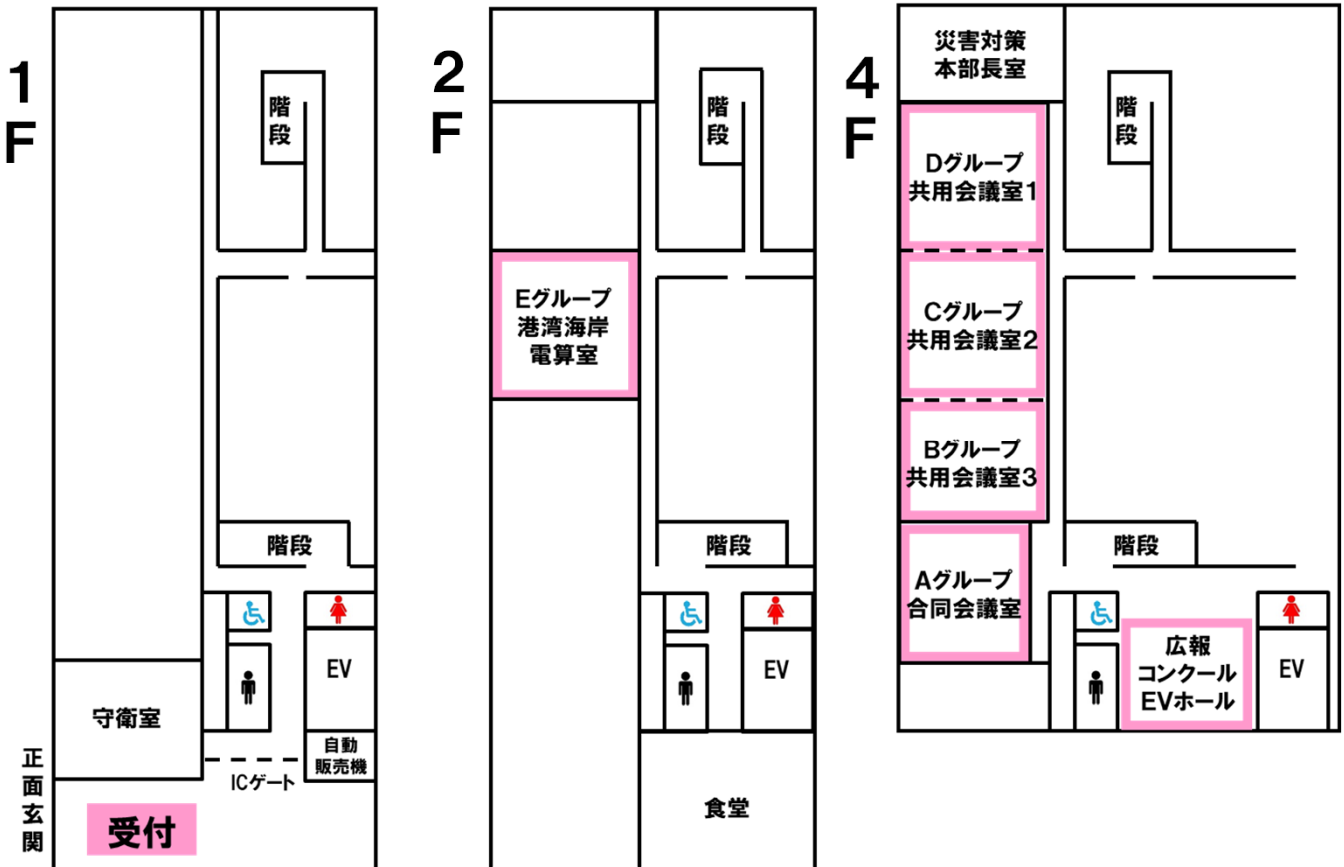
令和7年度 発表課題 部門

部 門		内 容	論文数
I	イノベーション		
	I-1 DX・新技術	・ i-ConstructionやD Xの取り組みに関すること ・ 新技術の活用、普及に関すること	11
	I-2 全般	・ I-1 以外全般	9
II	アカウンタビリティ	・ 地域住民に対する情報提供、NP0や地域との連携等コミュニケーションの推進に関する取り組み ・ モニタリング調査、パブリックコメント制度等に関する取り組み ・ 情報公開の推進に関する取り組み ・ マスコミ対応等に関する取り組み ・ 効果的、効率的な広報の実施事例	2
III	災害対応・防災	・ 災害時（地震・水害等）の対応、防災、災害復旧、危機管理（テロ対策含む）に関すること	25
IV	維持管理・全般	・ 河川や道路等の社会資本の維持管理・更新に関すること ・ 安全（交通安全等広い意味も含む）に関すること	13
V	くらし・活力	・ 地域活性化・再生による活力社会の取り組み ・ 社会資本整備に関する効果等に関する調査・分析及び評価 ・ 多様なライフスタイル形成に関する取り組み ・ 担い手に関する取り組み	7
VI	環境	・ 環境、リサイクル（発生抑制、再利用の促進、適正処理の推進）に関する取り組み ・ 地球温暖化に関する取り組み（事業の効率化による循環型社会におけるCO2削減、脱炭素化の推進等） ・ 環境、景観に配慮した取り組み（水環境と生態系の保全、自然共存型社会の構築等） ・ SDG sに関する取り組み	5
VII	雪	・ 雪を活かした地域づくり（利雪による地域活性化の取り組み等） ・ 雪に強い地域づくり（冬期交通対策、克雪を考慮したまちづくり等）	4
VIII	行政・法令実務・業務効率化	・ 法的諸問題の調査研究と摘要、解説 ・ 多様な入札、契約制度の試行に関すること、又はその摘要、解説 ・ 業務改善、業務効率化等の新たな取り組み ・ 日常業務、事務手続き等での課題及びその解決	3

プログラム概要

※詳細な時間については、発表別プログラム(グループ別)をご覧ください。

9月 9日 (火)						
会場	4F 合同会議室	4F 共用会議室 3	4F 共用会議室 2	4F 共用会議室 1	2F 港湾海岸電算室	4F エレベーターホール
12:30~13:00	受付 (正面入口)					
13:05~13:10	—	開会式			—	—
13:30~16:54	Aグループ Ⅰ-1 イノベーション (DX・新技術) Ⅱ アカウンタビリティ	Bグループ Ⅴくらし・活力 Ⅵ環境 Ⅷ行政・法令実務・業務効率化	Cグループ Ⅰ-2 イノベーション (全般) Ⅲ災害対応・防災	Dグループ Ⅲ災害対応・防災	Eグループ Ⅳ維持管理・全般 Ⅶ雪	広報コンクール パネル展示
9月 10日 (水)						
会場	4F 合同会議室	4F 共用会議室 3	4F 共用会議室 2	4F 共用会議室 1	2F 港湾海岸電算室	4F エレベーターホール
8:30~9:00	受付 (正面入口)					
9:00~11:17	Aグループ Ⅰ-1 イノベーション (DX・新技術) Ⅱ アカウンタビリティ 11:00~11:30 広報コンクール 事例発表	Bグループ Ⅴくらし・活力 Ⅵ環境 Ⅷ行政・法令実務・業務効率化	Cグループ Ⅰ-2 イノベーション (全般) Ⅲ災害対応・防災	Dグループ Ⅲ災害対応・防災	Eグループ Ⅳ維持管理・全般 Ⅶ雪	広報コンクール パネル展示
11:17~13:00	休憩					
13:00~14:30	—	特別講演			—	—
14:45~15:30	—	表彰式・閉会式			—	—



発表プログラム(グループ別)

Aグループ ／ Ⅰ－Ⅰイノベーション（DX・新技術）、Ⅱアカウンタビリティ
9月 9日（火） 13:30～16:36 会場：合同会議室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< Ⅰ-1イノベーション（DX・新技術） >					
1	13:30 ～ 13:42	災害復旧現場における新しい取り組みについて	能登復興事務所	工務第三課	前原 彩人
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	下新川海岸における離岸堤構造の変更〔基礎マウンド構造の強化・工期短縮〕	黒部河川事務所	流域治水課	大谷内 啓丞
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	AI技術を用いたCo吹付法面及び橋梁の健全度診断に関する技術手法について	能登復興事務所	計画課	長谷部 佑太
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	Xbandレーダによる水文観測の高度化について	信濃川河川事務所	流域治水課	丸山 聖司
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	TEC-FORCEでのドローンを活用した調査に関する取り組みについて	災害対策マネジメント室		前田 雄貴
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	塩殿遊水地の越流堤施工における工夫について	信濃川河川事務所	工務課	渡邊 創太
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
7	15:29 ～ 15:41	「有峰二の谷」における「無人化施工＋ICT施工」の取り組み	立山砂防事務所	水谷出張所	金山 颯馬
	15:41 ～ 15:47	質疑応答			
	15:47 ～ 16:00	《 休 憩 》			
8	16:00 ～ 16:12	スマートフォンを活用した道路点検DXシステム	新潟国道事務所	新発田維持出張所	雄谷 光
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	「DX体験」を通じたインフラDX推進への取り組み～北陸インフラDX人材育成センター立ち上げから1年～	北陸技術事務所	品質調査課	田邊 剛
	16:30 ～ 16:36	質疑応答			

Aグループ / I-1イノベーション（DX・新技術）、IIアカウンタビリティ

9月10日（水）

9:00～10:12

会場：合同会議室

No	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属	発 表 者
10	9:00 ～ 9:12	3次元データによるカメラ配置検討について	利賀ダム工事事務所 専門調査官	扇谷 宗典
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え		
11	9:18 ～ 9:30	U A V自律飛行による砂防施設の点検について	神通川水系砂防事務所 調査課	片岡 圭介
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え		
< II アカウンタビリティ >				
12	9:36 ～ 9:48	関川水系河川整備計画変更における意見聴取等を踏まえた対応	高田河川国道事務所 調査第一課	中里 倫子
	9:48 ～ 9:54	質疑応答、入れ替え		
14	9:54 ～ 10:06	3次元モデルを用いた用地境界立会いについて	長野県 河川課	諏訪 有祐
	10:06 ～ 10:12	質疑応答		

広報コンクール事例発表

9月10日（水）

11:00～11:30

会場：合同会議室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属	発 表 者
1	11:00 ～ 11:05	職員で出来る！ デジタル技術を活用した広報コンテンツの作成 （企画部・国営越後丘陵公園事務所）	企画部 施工企画課 国営越後丘陵公園事務所 調査設計課	○山崎 春登 土屋 薫
	11:05 ～ 11:10	質疑応答、入れ替え		
2	11:10 ～ 11:15	7・13水害20年プロジェクト～水害から得られた教訓を後世に伝える取り組み～	信濃川下流河川事務所 流域治水課	布川 凌大
	11:15 ～ 11:20	質疑応答、入れ替え		
3	11:20 ～ 11:25	世界的人気ゲームを活用した創造的復興につなげる印象的な広報の取り組み	能登復興事務所 計画課	坂口 莉緒
	11:25 ～ 11:30	質疑応答		

Bグループ / Vくらし・活力、VI環境、Ⅷ行政・法令実務・業務効率化

9月 9日（火）

13:30～16:54

会場：共用会議室 3

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< Vくらし・活力 >					
1	13:30 ～ 13:42	北陸地方における空き家対策の推進に向けた取り組みについて	建政部	都市・住宅整備課	金森 美響
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	北陸地域における物流の2024年問題の影響と内航海運へのモーダルシフトの課題について	港湾空港部	クルーズ振興・港湾物流企画室	小松 桜子
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	行政・民間・地域が連携した渋滞対策について～高田城址公園観桜会渋滞対策プロジェクト～	高田河川国道事務所	調査第二課	姥貝 草弥
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	大源太川第1号砂防堰堤における地域活性化に向けた取組について～インフラツーリズム魅力増 倍 増 プロジェクト～	湯沢砂防事務所	調査課	高橋 未季
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	地方部における道の駅を拠点としたカーシェアリング社会実験について	長岡国道事務所	計画課	片岡 優也
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	国道49号水原バイパスの事業経緯とその効果	新潟国道事務所	計画課	柴田 大雅
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
7	15:29 ～ 15:41	人流データによる河川・ダム湖利用者数推計手法の提案と活用の可能性	金沢河川国道事務所	流域治水課	石崎 泉
	15:41 ～ 15:47	質疑応答			
	15:47 ～ 16:00	《 休 憩 》			
< VI環境 >					
8	16:00 ～ 16:12	関東信越国税局業務センター新潟分室における設計・施工段階の取組について -増改築による既存施設の大規模リニューアル-	営繕部	整備課	本間 響
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	希少猛禽類に配慮した砂防工事における保全対策について	湯沢砂防事務所	工務課	大久保 僚祐
	16:30 ～ 16:36	質疑応答、入れ替え			
10	16:36 ～ 16:48	神通川自然再生の取り組み	富山河川国道事務所	流域治水課	麓 太一
	16:48 ～ 16:54	質疑応答			

Bグループ / Vくらし・活力、Ⅵ環境、Ⅷ行政・法令実務・業務効率化

9月10日（水）

9:00～10:41

会場：共用会議室3

No	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
11	9:00 ～ 9:12	災害復旧現場におけるリサイクル等の取り組みについて	能登復興事務所	工務第三課	山田 浩輝
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
12	9:18 ～ 9:30	阿賀川自然再生計画（案）の更新について	阿賀川河川事務所	工務課	志賀 蒼
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
< Ⅷ行政・法令実務・業務効率化 >					
13	9:36 ～ 9:48	借地事務における負担軽減に向けた取組について	用地部	用地企画課	小林 嵩英
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
14	10:05 ～ 10:17	国家公務員等の旅費制度の見直しについて	総務部	会計課	山田 隼士
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
15	10:23 ～ 10:35	特定不能土地等管理命令により表題部所有者不明土地を取得した事例	用地部	用地対策課	富田 佐輔
	10:35 ～ 10:41	質疑応答			

Cグループ / I-2イノベーション（全般）、Ⅲ災害対応・防災

9月 9日（火）

13:30～16:54

会場：共用会議室2

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< I－2イノベーション（全般） >					
1	13:30 ～ 13:42	栗ノ木高架橋下部工事における橋脚梁部のプレハブ鉄筋施工について	新潟国道事務所	工務第一課	松田 歩夢
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	水理模型実験による減勢工等の形状決定プロセスについて	利賀ダム工事事務所	調査設計課	渡邊 航太
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	朝日温海道路における先進導坑によるトンネル坑口部の施工方法について	新潟国道事務所	村上出張所	清水 彩也音
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	洋上風力基地港湾における岸壁地盤改良の品質確保について	新潟港湾・空港整備事務所	第二建設管理官室	富樫 奏
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	千曲川河川事務所における流量観測の高度化に向けた取組事例の中間報告	千曲川河川事務所	流域治水課	保倉 篤
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	利賀ダム本体建設（第1期）工事の施工状況について（報告）	利賀ダム工事事務所	工務課	中田 雷斗
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
7	15:29 ～ 15:41	国営越後丘陵公園ながおかアーバンバイクパークの整備について	国営越後丘陵公園事務所	工務課	新保 聖志
	15:41 ～ 15:47	質疑応答			
	15:47 ～ 16:00	《 休 憩 》			
8	16:00 ～ 16:12	敦賀港浚渫工事における現場制約条件下での冬期施工に関する課題解決の取組について	敦賀港湾事務所	保全課	篠田 凌太
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	梯川水系における内外水統合型水害リスクマップの検討について	金沢河川国道事務所	流域治水課	徳坂 文音
	16:30 ～ 16:36	質疑応答、入れ替え			
< Ⅲ災害対応・防災 >					
10	16:36 ～ 16:48	3D都市モデル（PLATEAU）を活用した水災害の自分事化に向けた取組について	信濃川河川事務所	流域治水課	下村 魁晟
	16:48 ～ 16:54	質疑応答			

Cグループ / I-2イノベーション（全般）、Ⅲ災害対応・防災

9月10日（水）

9:00～11:17

会場：共用会議室2

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
11	9:00 ～ 9:12	能登半島における広域道路ネットワーク基本方針の策定について	道路部	道路計画課	土田 晃久
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
12	9:18 ～ 9:30	地震防災訓練の事例と今後の防災対応力強化の課題	新潟港湾・空港整備事務所	沿岸防災対策室	玉木 基夫
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
13	9:36 ～ 9:48	「道の駅」における防災機能の役割について	道路部	交通対策課	内藤 健也
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
14	10:05 ～ 10:17	令和6年奥能登豪雨における情報通信関係の災害対応について	企画部	情報通信技術課	齋藤 寛大
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
15	10:23 ～ 10:35	令和6年能登半島地震に伴う河川堤防の液状化に対する復旧工事について	信濃川下流河川事務所	工務課	南 大地
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
16	10:41 ～ 10:53	松本砂防事務所管内における流域ごとの土砂災害をもたらす降雨要因の把握とその活用	松本砂防事務所	工務課	輪湖 知治
	10:53 ～ 10:59	質疑応答、入れ替え			
17	10:59 ～ 11:11	令和6年能登半島地震で被災した供用中の岸壁における早期復旧・解放について	伏木富山港湾事務所	保全課	古川 知弥
	11:11 ～ 11:17	質疑応答			

Dグループ / Ⅲ災害対応・防災

9月 9日（火）

13:30～16:54

会場：共用会議室 1

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< Ⅲ災害対応・防災 >					
1	13:30 ～ 13:42	のと里山海道における冬期走行の安全性・快適性の改善に向けた取組について	金沢河川国道事務所	工務第二課	中野 翔太
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	BIM/CIMを活用した災害申請資料作成の効率化について	河川部	河川工事課	佐久間 颯世
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	災害復旧の権限代行区間における冬期対応（のと里山海道）	金沢河川国道事務所	道路管理第一課	田中 楓
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	能登復興 令和6年奥能登豪雨 ーその時 何ができたかー	能登復興事務所	工務第一課	木田 憲伸
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	能登半島地震で被災した七尾港（大田地区）矢板式岸壁の被災メカニズムについて	港湾空港部	海洋環境・技術課	浅生 凜人
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	能越自動車道の災害復旧におけるプレキャスト踏掛版の採用について	能登復興事務所	工務第二課	竹中 大輝
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
7	15:29 ～ 15:41	令和6年能登半島地震における和倉温泉護岸復旧について	能登港湾空港復興推進室	第三建設管理官室	美濃 汰一
	15:41 ～ 15:47	質疑応答			
	15:47 ～ 16:00	《 休 憩 》			
8	16:00 ～ 16:12	奥能登豪雨における道路啓開と宅地土砂撤去について	能登復興事務所	工務第三課	南谷 達也
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	能登半島地震による飯田港東防波堤の被災メカニズムについて	新潟港湾空港技術調査事務所	調査課	川瀬 寛己
	16:30 ～ 16:36	質疑応答、入れ替え			
10	16:36 ～ 16:48	大谷トンネルの被災状況と応急復旧について	能登復興事務所	工務第三課	高井 静也
	16:48 ～ 16:54	質疑応答			

Dグループ / Ⅲ災害対応・防災

9月10日（水）

9:00～11:17

会場：共用会議室1

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
11	9:00 ～ 9:12	国道249号権限代行区間における地元ニーズに応じた復旧の取り組みについて	能登復興事務所	計画課	水野 ころ
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
12	9:18 ～ 9:30	能登上下水道復興支援室の活動事例紹介	国土技術政策総合研究所	能登上下水道復興支援室	山上 訓広
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
13	9:36 ～ 9:48	令和6年能登半島地震における輪島港の復旧・復興について	能登港湾空港復興推進室	第二建設管理官室	村中 貴博
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
14	10:05 ～ 10:17	能登半島地震における矢板式係船岸の被災分析と健全度評価	新潟港湾空港技術調査事務所	設計室	永原 優衣
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
15	10:23 ～ 10:35	能登復興 地すべり事業の取組み ー地すべり対策と生活再建の狭間でー	能登復興事務所	調査課	宮崎 仁
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
16	10:41 ～ 10:53	小木港の水産業を継続させながらの災害復旧工事の施工について	能登港湾空港復興推進室	第一建設管理官室	和田 大輝
	10:53 ～ 10:59	質疑応答、入れ替え			
17	10:59 ～ 11:11	能登半島地震に伴う宝立正院海岸の復旧状況について	能登復興事務所	調査課	保科 勇翔
	11:11 ～ 11:17	質疑応答			

Eグループ / IV維持管理・全般、Ⅶ雪

9月 9日（火）

13:30～16:54

会場：港湾海岸電算室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< IV維持管理・全般 >					
1	13:30 ～ 13:42	大石ダムにおける水位運用高度化の現状と課題について	羽越河川国道事務所	大石ダム管理支所	黒崎 悠太
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	河川堤防の維持管理に関する光ケーブル空き芯の有効活用研究	阿賀野川河川事務所	流域治水課	佐々木 瞳羽
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	金沢港湾計画改訂と連携した土砂処分場の配置検討	金沢港湾・空港整備事務所	企画調整課	宮脇 虎太郎
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	国道7号荒川橋の橋台背面部におけるリフレクションクラック抑制対策について	羽越河川国道事務所	村上国道維持出張所	高野 大治郎
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	直轄国道における点検支援技術を用いた舗装点検	富山河川国道事務所	富山国道維持出張所	渡辺 豹馬
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	三国川ダムにおける外来種対策とその効果	三国川ダム管理所		浅田 祐摩
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
7	15:29 ～ 15:41	大川ダムにおける弾力的管理試験の取り組みについて	阿賀川河川事務所	大川ダム管理支所	吉田 遥
	15:41 ～ 15:47	質疑応答			
	15:47 ～ 16:00	《 休 憩 》			
8	16:00 ～ 16:12	E C I方式を活用した舗装修繕設計・工事「舗装E C I」の事例報告	長岡国道事務所	管理第二課	石附 倅太
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	黒部川における堤防の維持管理のための植物成長調節剤散布（試行）の取り組み	黒部河川事務所	河川管理課	大崎 美千枝
	16:30 ～ 16:36	質疑応答、入れ替え			
10	16:36 ～ 16:48	河川管理施設に対する担い手確保と維持管理向上について	千曲川河川事務所	管理課	手塚 大空
	16:48 ～ 16:54	質疑応答			

Eグループ / IV維持管理・全般、Ⅶ雪

9月10日（水）

9:00～11:17

会場：港湾海岸電算室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
11	9:00 ～ 9:12	ECI方式を活用した舗装修繕における詳細調査から修繕設計・施工の取組	金沢河川国道事務所	道路管理第二課	山田 佳祐
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
12	9:18 ～ 9:30	新潟県内における事故ゼロプランの取組と広報について	新潟国道事務所	調査課	久保 悠夏
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
13	9:36 ～ 9:48	UAV自律飛行を活用した手取川流域における砂防施設等の点検手法の構築	金沢河川国道事務所	流域対策課	中野 光
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
< Ⅶ雪 >					
14	10:05 ～ 10:17	昨年度の冬期対応に関する振り返り	道路部	道路管理課	倉田 圭
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
15	10:23 ～ 10:35	効果的な凍結防止剤散布とそれに伴う塩分濃度について～凍結防止剤散布要領の改訂に向けて～	北陸技術事務所	雪害防災減災課	中田 京之介
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
16	10:41 ～ 10:53	「にいがたふゆみち情報アプリ」配信地域の拡大による効果について	高田河川国道事務所	調査第二課	黒田 崇斗
	10:53 ～ 10:59	質疑応答、入れ替え			
17	10:59 ～ 11:11	ビックデータを活用したスタック発生のリスク検討について	新潟国道事務所	調査課	菅原 隆聖
	11:11 ～ 11:17	質疑応答			

ご来場の皆さまへ

- ▼第1日目に参加される方は、開会式への参加をお願いします。
第2日目に参加される方は、特別講演、閉会式への参加をお願いします。
- ▼アンケートにご協力をお願いします。
第2日目に必要事項を記入し、受付のアンケート箱に投函してください。
(第1日目にもアンケート箱は用意しております)
- ▼携帯電話等マナーモードへのご協力をお願いします。
- ▼発表時間中の会場の移動は、極力控えてください。
休憩時間でのご移動をお願いします。
- ▼貸し出した一時通行証(ＩＣカード)は、各日発表会終了後、速やかに返却してください。

【発表される方】

※発表用データの当日の差替はお断りしております。

※web聴講におけるトラブル防止のため、発表時以外に発表用PCを操作することはご遠慮ください。

▼発表前

○発表開始前または休憩時間終了前に、発表者席(演台付近)で待機してください。

▼発表時

○レーザーポインターは用意しません。web聴講者に対応するため、パワーポイントのポインター機能をご使用ください。

○web聴講におけるトラブル防止のため、発表用データの立ち上げ及び終了はスタッフが行います。
スライドショーの操作のみ、ご自身でお願いします。

○発表時間は12分です。

- ・ベル／10分：1回、11分：2回、12分：3回
※12分を過ぎると打ち切りとさせていただきます。
- ・質疑応答／5分 入替時間／1分

▼発表後

○発表後は発表者席に戻り、すぐに離席しないでください。休憩毎に発表者席の入替を行います。

○必ず表彰式・閉会式に出席してください。出席ができない場合は、代理の方の出席をお願いします。

会場のご案内

【開催場所】

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
新潟美咲合同庁舎 1 号館

(交通機関のご案内) : 詳しい時間は新潟交通ホームページでご確認下さい
新潟駅バスターミナル 10番線乗り場よりバスで約30分。

「水島町經由美咲合同庁舎行き」乗車 → 「美咲合同庁舎」下車

「水島町經由西部(営)行き」乗車

「県庁前經由曾野木ニュータウン行き」乗車

「県庁前經由嘉木行き」乗車

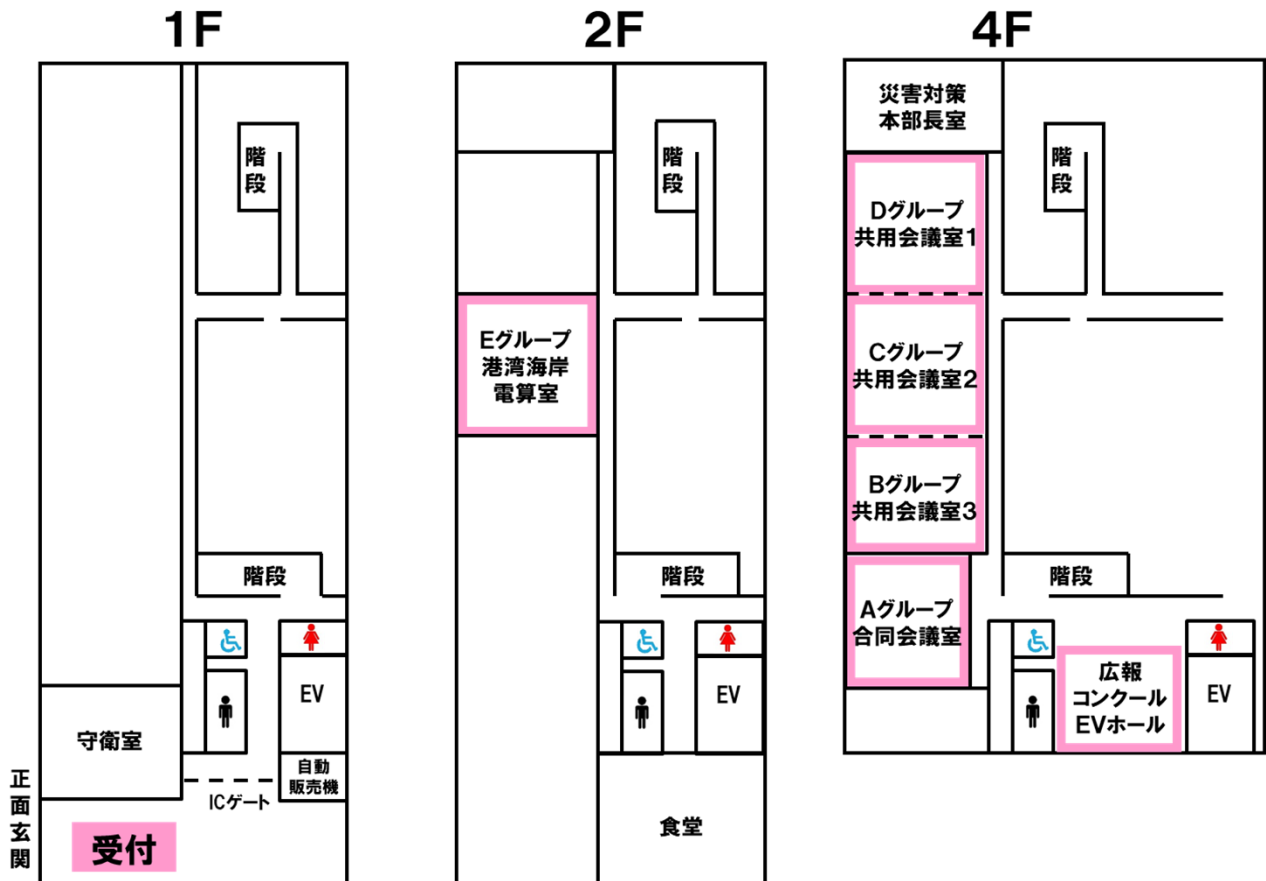
「県庁前經由酒屋車庫行き」乗車

「県庁前經由小須戸行き」乗車

「出来島変電所前」下車
約400メートル



【庁舎内案内】



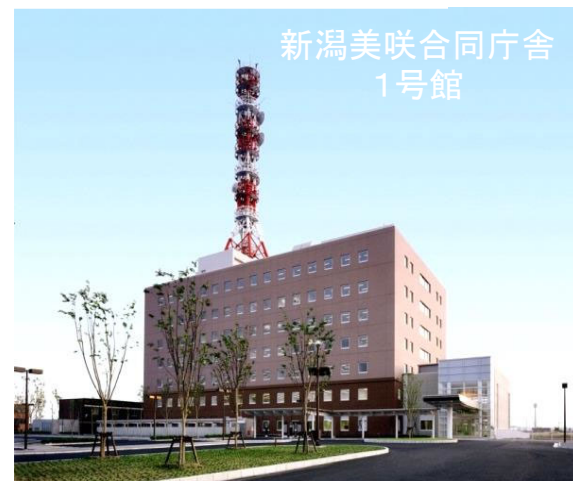
【問い合わせ】

北陸地方整備局 事業研究発表会 運営事務局
(企画部 企画課 企画第二係)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
新潟美咲合同庁舎1号館

TEL.025-280-8834 FAX.025-280-8835

E-mail kikaku@hrr.mlit.go.jp



Memo

Memo

